

AIMESOFT

企業名	Aimesoft	設立年	2018年
代表者	Nguyen Tuan Duc (Mr.) , Ph.D, CEO	従業員数	50名
所在地	ハノイ市	分野	AI
ウェブサイト	https://www.aimesoftware.com/ja/	備考	ベトナム情報通信省 より推薦



Mr. Nguyen Tuan Duc (CEO)

- 複数のアルゴリズム（音声処理、自然言語処理、画像処理、ビッグデータ、データマイニング、テキストマイニング）を融合した世界初の技術、「マルチモーダルAI（Multimodal AI）」を独自に開発。人間が視覚や聴覚から対象物を識別するのと同様に、画像や音声、言語処理を掛け合わせることで、より高度な認識が可能となる。
 - すでに大手日本企業（電通ほか）とも多数の協業実績あり。自動受付システムなどを開発しており、直近では「ナインアワーズ博多駅」（カプセルホテル）のバーチャル受付に採用された（※）。このように「バーチャル〇〇」という領域を得意分野としており、「バーチャル教師」（教育）、「バーチャルアナウンサー」（テレビ）など多方面での展開が考えられる。
- ※バーチャル受付動画：<https://drive.google.com/file/d/1M53xwsXTZ0axpNd9FbniuK2eRs5ArJh5/view>
- ※ナインアワーズ プレスリリース（P3に同社名記載あり）：https://ninehours.co.jp/assets/pdf/9h_hakata_release_f6.pdf
- この他、スマートOCR（免許証やクレジットカードの文字認識）、紙幣処理、献立の自動作成、電力予測、株予測など、開発実績は多岐に渡る。
 - 代表のグエン・トアン・ドゥク氏は、AIや自然言語処理の専門家。東京大学で博士課程を修了しており日本語も堪能。2020年5月には日本法人を設立し、日本企業とのさらなる協業を目指している。

【こんな日本企業を探しています】

- 同社サービス利用に関心がある日本企業
- 協業パートナー（ベトナム国内外でのサービス提供における連携）



企業名	ABIVIN	設立年	2015年
代表者	Pham Nam Long (Mr.) , CEO & Founder	従業員数	65名
所在地	ハノイ市	分野	ロジスティクス・テクノロジー
ウェブサイト	https://www.abivin.com/	備考	Vietnam Silicon Valleyより推薦



Mr. Pham Nam Long
(CEO & Founder)

- 2019年の「スタートアップ・ワールドカップ(Startup World Cup)」で40か国以上からのライバルを下して優勝し、賞金約1億円を獲得した注目のベトナムスタートアップ企業。
- AI、機械学習、ビッグデータ分析などを活用し、物流・サプライチェーンを最適化するソフトウェアソリューション「Abivin vRoute」を提供。港湾～工場～輸送～卸売～小売の各工程で物流を効率化。主な顧客はメーカー、小売業者、卸売業者、輸送業者などで、物流コスト・時間の節約、輸送能力の向上、サプライチェーン管理のデジタル化を可能にする。最大30%の輸送コスト削減し、燃費の節約などにもつながっている。
- ハノイ、ホーチミン、シンガポールに拠点あり。現在、ベトナム、シンガポール、ミャンマー、インドネシアの4か国で展開。現在、日本や米国での展開を目指し、研究を進めている（現在日本語版も開発中）。これまで韓国、米国のVCからの投資実績あり。
- 競合はASEANなどにいるが、「最適化アルゴリズム」が同社の強み。ソフトウェアは2015年の開発後、現在でも毎週更新を続け、改良を続けている。

【こんな日本企業を探しています】

- 同社サービス利用に関心がある日本企業
 - ・メーカー（食品・日用消費財、家電など）、小売・卸売、物流会社
 - ・在ベトナム日系企業、グローバル展開企業
- 戦略的な投資家（物流・サプライチェーン、企業ソフトウェア分野に強みのある投資家）



企業名	SMARTLOG SUPPLY CHAIN SOLUTIONS CORPORATION	設立年	2015年
代表者	ドー・ファイ・ビン氏 (CEO)	従業員数	111名
所在地	ホーチミン市	分野	ロジスティクス
ウェブサイト	https://gosmartlog.com/	備考	VINASAより推薦



ドー・ファイ・ビン氏
(Founder and CEO)

- SMARTLOGは、物流管理ソリューションに特化したテクノロジースタートアップである。同社は、サプライチェーンのデジタル化、自動化、最適化を実現する物流ソリューションのエンドツーエンドのエコシステムを提供する。具体的に、Logistics as a Service (LaaS)及びSoftware As A Service (SaaS)プラットフォームを展開している。同社のLaaSプラットフォームは流通トラック輸送と輸出入のためのサプライチェーンソリューションコンテナを提供。一方、SaaSプラットフォームは、輸送管理システム(STM)と倉庫管理システム(SWM)を提供しており、マルチラングエージにより短時間で市場のトラフィックに変換可能である。
- 現在、日系を含む大手物流企業やメーカー・小売企業がSmartlogエコシステムを導入しており、取引は100社を超える。輸送管理ソリューション (STM) で15,000台以上の車両が管理し、倉庫管理システム (SWM)で1,000万㎡以上の面積と2,000人以上のユーザーを管理している。
- 同社はベトナム、ASEAN地域で最大のカバレッジを持ち、物流オペレーションの統合プラットフォームおよびエコシステムを構築する最初の企業になることを目指している。多くの国々でこのシステムの展開を考えており、2021年中にASEAN市場展開を予定。
- サオ・クエー賞 (※) を2019年：輸送管理ソリューション (STM)、2020年：倉庫管理システム (SWM)で2年連続で受賞している。
※ベトナムのソフトウェアおよび情報技術産業の発展への多大な貢献を称える賞

【こんな日本企業を探しています】

- 同社サービス利用に関心がある大手企業
- 日本市場における戦略的パートナー
- 他協業に関心がある企業



企業・製品名	PhenikaaX	設立年	2015年
代表者	Le Anh Son(Mr.) CEO	従業員数	34名
所在地	ハノイ市	分野	スマートシティ
ウェブサイト	https://www.phenikaa-x.com/	備考	PhenikaaグループからSpin Off



Mr. Le Anh Son, CEO

- 地場コングロマリット（複合企業）Phenikaaグループの社内ベンチャー。2020年、同グループ傘下のPhenikaa大学からスピンオフする形で設立された。2021年3月、ベトナム製として初となる（同社発表）「自動運転レベル4（高度自動運転）」の試作車を発表（※）。
 - ベトナムにおける自動運転技術は、これまでビングループ（コングロマリット最大手）がレベル2、FPT（IT最大手）がレベル3を発表してきたが、同社はハノイ工科大学や他の関連スタートアップと研究開発を重ねることで、2020年の会社設立後、1年弱の短期間で試作車の完成に至った。現在、技術者50名体制（ハード：20名、ソフト：30人名）で、ミニバス、セダン、電気自動車の開発に注力。価格の最適化を図っており、安価に提供できることも強み。ベトナムでは自動運転に関する法規制が未整備となっており、まずはリゾートなどプライベートエリアでの展開を計画。今後スマートシティでの展開も目指す。2021年内にバージョン2へのアップデートを予定。
 - 自動運転車だけでなく、自動運転ロボット、ドローン、トラクター、フォークリフトなども手掛ける。既に日本企業からの引き合いも多く寄せられているが、今後、各製品分野で技術提携できる日本企業を探していきたい。またスマートアシスタントロボットについては、日本市場への参入を目指しておりパートナーを発掘したい。
 - PhenikaaX創業者・CEOのレ・アイン・ソン氏は、9年の日本在住が経験あり、今後、日本企業とのさらなる協業を目指している。
- ※2021年3月、Phenikaa大学内で行われた発表会では、経済産業省による人材育成支援事業の一環として、日本の大学・企業（自動車メーカー）によるオンライン講座が行われ、日本側から江島経済産業副大臣（オンライン参加）が、ベトナム側からファン・タム情報通信副大臣、ブイ・テー・ズイ科学技術副大臣らが出席した。



【こんな日本企業を探しています】

- 同社製品の導入（ベトナム国内のスマートシティ、リゾート関連企業など）
- 技術面での協業（自動車、建機メーカーなど）
- 日本市場参入に向けてのパートナー（特にロボット分野）
- 投資家（スマートシティ、モビリティ関連企業等）

※本資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。
 ※本資料の記載内容に関して生じた直接的・間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。



企業名	eDoctor	設立年	2014年
代表者	ヴ・タン・ロン氏	従業員数	80名
所在地	ホーチミン市	分野	ヘルスケア
ウェブサイト	Edoctor.io	備考	プレシリーズA (合計投資金額未公開)



ヴ・タン・ロン氏 (CEO & Founder)

- 2014年に設立されたeDoctorは、ベトナムで最も早期の在宅ヘルスケアソリューション及びサービスを提供するスタートアップである。設立当時はヘルスケアに関する相談窓口だけだったが、2016年からオンラインに移行してから、O2O (Offline to Online)形式の総合ヘルスケアサービスを提供するデジタル企業へと進化した。
- 当社はデジタル技術と医療の専門知識の統合により、ヘルスケアとヘルスケア・エコシステムにおける患者・医師・看護師をつなぐ主要なプラットフォームになることを目標とし、同プラットフォームを通して、ユーザーが自分のニーズに合った最適なソリューションを見つけ、より健康的な生活が送れるように念願。また、オンラインとオフラインの統合により、ベトナムの医療水準の向上を図る。
- サービスとしては医療コンテンツ、医師及び医療従事者へのQ&A、医薬品コマース、各種医療検査パッケージ（検査サンプル採取看護師派遣）を提供する他、DNA Medicalの遺伝子解析や一般的な健康診断などもオンラインにて予約することができる。そして、今後スマートクリニックの運営も開始する予定だ。2021年現在、eDoctorは100以上の企業のヘルスケアパートナーとなり、利用者が268,000人以上を達した。相談役として登録した協力医師や医療従事者などが約1,000人ほどを達した。
- 2016年にFacebookより80,000USD、2017年にGoogleより50,000USDの投資を受け、投資番組「Shark Tank Vietnam」にてCyberAgent Capitalからは700,000USDの投資金額が調達できた。その他、Genesis Ventures, Bon Angels, Nextransなど様々なベンチャーキャピタルからも出資の実績がある。合計投資金額が未公開だが、100万～300万USDと想定している。

【こんな日本企業を探しています】

- 投資家（常にオープン）
- 同社サービス利用に関心がある日本企業
- 他協業に関心がある企業

viettel

企業名	Viettel Business Solution Corporation	設立年	2018年
代表者	Nguyen Manh Ho (Mr.) , General Director	従業員数	2,200名
所在地	ハノイ市	分野	Communication
ウェブサイト	https://solutions.viettel.vn/en		



左から3番目：Mr. Le Van Hoan,
Director Global Business Center

- 2018年、ベトナム国有Viettel（ベトナム軍隊工業通信グループ）傘下に設立されたDXやビジネスソリューションに特化した組織。Viettel子会社ではあるが、ハノイ・ダナン・ホーチミン3拠点を中心に、全国63省で2,200名以上の従業員を擁する。
- ベトナム国有企業の中でも特に海外事業で成功している企業として知られており、東南アジア（ミャンマー、ラオス、カンボジア等）、南米、アフリカの10カ国・地域でITサービスを展開中。
- Viettelは従来通信事業を軸に展開してきたが、BtoB、BtoG分野においてDX関連サービスやビジネスソリューション提供を目指す。
- 重点分野である「ヘルスケア」「教育」「スマートシティ」のほか、顧客管理、交通、電力、銀行、農業、観光、小売など幅広い16の領域で展開中。こうしたサービスはいずれも自社で独自開発している。直近では、2020年9月に「Viettel Telehealth」をローンチし、全国規模でのリモート医療のプラットフォーム構築を進めている。
- 日本企業との協業実績はあまりない。ただし日本は重要なパートナーと位置付けており、現在日本進出を計画中。
- 日本企業とは主に以下のような形態での協業を希望。特に「ヘルスケア」「教育」「スマートシティ」の重点分野での連携に期待。
 - ①ベトナム国内での展開：日本の先端技術の導入。また在越日系企業との協業も希望
 - ②日本国内での展開：日本進出に当たり、IT、金融、小売、エネルギー等の各部門で協業
 - ③第3国での展開：Viettelの既進出先（東南アジア、南米、アフリカ）での協業

【こんな日本企業を探しています】

- 同社サービス利用に関心がある日本企業
- 協業パートナー（上記参照）